

# 総合的な学習の時間指導案

日時 平成27年1月23日（金）5校時  
場所 コスモスルーム  
児童 6年2組 男子15名 女子14名 計29名  
指導者 坂本公信（札幌市立北陽小学校）

## 1 単元名 ウィンタースポーツの街 札幌

### 2 単元の設定に当たって

本校では、総合的な学習の時間を「北陽タイム」と位置付けている。北陽タイムでは縦系列として、〈地域に根ざした探究的な学習〉〈今日的な課題にかかわる探究的な学習〉〈札幌らしさを生かした探究的な学習〉をそれぞれ3～6年生で行っている。その中でも〈札幌らしさを生かした探究的な学習〉は「雪」を教材として扱い、3年「『雪』～不思議発見」、4年「雪と安全」、5年「雪のよさを伝えよう」、6年「雪の街 札幌」として学習を進めている。

昨年度5年生時に雪の一大イベントである「さっぽろ雪まつり」について調べ、PCを使ってレポートを書くという学習を行った。また、ニュース番組作りで他者を意識して情報を発信するという学習にも取り組んだ。今回、さらに活動を一步進めて、「プレゼンテーション」に挑戦し、自分たちが調べ感じたことを発表し伝えるという学習を行いたいと考えた。そこで、北海道雪プロジェクトが作成した「雪の学習プレゼンテーション2」を活用し、プレゼンテーションという活動自体が初めての子どもたちに抵抗なく取り組めるようにしたいと考えた。また、本校での6年の雪の学習「雪の街 札幌」と照らし合わせ、調べる対象が幅広いと子どもたちの混乱を招いたり、收拾がつかなくなったりする恐れがあると考え、調べる題材を「ウィンタースポーツ」に絞ることで、子どもたちが抵抗なく学習に取り組めると考えた。よって、今回の単元を「ウィンタースポーツの街 札幌」と設定した。

札幌とウィンタースポーツのつながりを調べることによって、自分たちが住んでいる札幌の気候や特徴、そして魅力を子どもたちに知ってほしいと考えた。また、調べていく中で、「冬」や「雪」が見方を変えることで、とても素晴らしいものであることに気づき、そこに住んでいる自分たちがとても恵まれた環境の中にいることを認識してほしいとねがった。そしてさらには自分たちが感じ取ったこと考えたことをプレゼンテーションという形で発信することをねらいとしこの単元を設定した。

### 3 児童の実態・傾向

男女ともに仲がよく、決められたグループでも協力して活動を進めることができる。男子は比較的、前に出て自己表現をしたり、発表したりすることを好む子が多いが、女子は自分から進んで表現する子は少ない。今回の活動グループは、日常のかかわりを大切に生活班をそのまま活用し、プレゼンテーションに取り組むこととした。4～5人の人数で学習のテーマを決め、調べ、発表の形式の設定、役割分担をしていくことになる。

この学習を進めるにあたり、冬と雪に関するアンケートをとった結果、冬・雪・スキーに関して肯定的な回答をする子が多かった。しかし、スキーを苦手としている子、ウィンタースポーツを体験する機会やウィンタースポーツの種類自体を知らない子が多いこともわかった。今回の学習でウィンタースポーツを再認識し更なる興味を子どもたちにもってもらいたいと考えている。

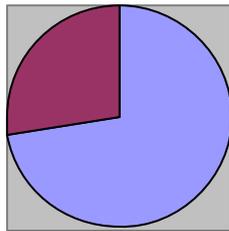
#### 冬と雪に関するアンケートの結果

##### 冬は好きですか？

好き～21人

■好き ■嫌い

嫌い～8人



好きな理由として～暑くない、虫がいない、雪が降る、季節のイベント、雪遊び、冬にしかできない事、きれいな景色、雪が降る所で育っている、食べ物、スポーツができる

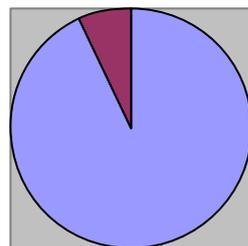
嫌いな理由として～寒い、公園で遊べない、雪かきが大変

##### 雪は好きですか？

好き～27人

■好き ■嫌い

嫌い～2人



好きな理由として～雪遊び、スポーツ、雪まつり、きれい

嫌いな理由として～歩きにくい、雪かき、つめたい

嫌い→嫌いで回答は1人なので、冬や雪を楽しんでいる子は多いと言える。

### よくする雪遊びは何ですか？（複数回答あり）

- 1位～雪合戦、21人
- 2位～そりすべり、16人
- 3位～かまくら作り・スキー、10人
- 4位～雪だるま～8人

そのほか～山登り、ミニスキー、すべり台作り、形作り、雪玉作り、アイスクャンドル作り、雪ダイブ

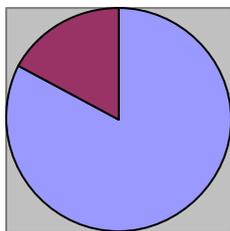
やはり雪合戦、そりすべりは人気である。スキーは遊びと考えていない子もいたようである。

### スキーは好きですか？

好き～24人

■好き ■嫌い

嫌い～5人



- ・運動自体が不得手な子が嫌いを選択していることが多い。
- ・学校のスキー学習以外でスキーをすることはありますかの設問で「ない」と答えた子が6名。そのうち、4名はスキーが嫌いと答えている。（好き→ないのうち一人はスノーボードをやるため）
- ・学校以外でスキーをする23名のうち19名はスキー場に行く模様。

### スキー以外で取り組んだことのあるウィンタースポーツはありますか？（複数回答あり）

スケート15名、クロカン2名、スノーボード1名、ジャンプ1名

スキー以外となるとやはりスケートが身近で取り組みやすいものであるらしい。どの競技にしても保護者の理解や協力がなければ活動は難しそうである。スキーについても行かないから嫌いなのか、嫌いだから行かないのかは不明ではあるが、学校のスキーでまずは楽しさを味わってもらいたい。なお、29名中9名はスキー以外のウィンタースポーツはしたことがないと回答していた。

## 4 単元の目標

- ・ウィンタースポーツと札幌のつながりに興味をもち、自分の課題を見つけようとする。〈見通す力〉
- ・情報収集や体験活動に基づき、自分の調べたことを工夫してまとめる。〈追求する力〉
- ・友達と関わりあいながら、ウィンタースポーツについて多面的・総合的にとらえる。〈追求する力〉
- ・自分の活動を振り返り、ウィンタースポーツと札幌のつながりについて、見方や考え方を深める。〈振り返る力〉
- ・ウィンタースポーツについて感じ取ったこと考えたことをプレゼンテーションで効果的に伝える。〈振り返る力〉

5 単元構成（20 時間扱い）

時	主な活動	留意点
1	<p>☆札幌と冬のスポーツのかかわりについて知ろう</p> <p>○オリエンテーション〈1 時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「雪で育つさっぽろっこ」を視聴し、ウィンタースポーツや冬の札幌の様子についてしり、最後にはプレゼンテーションをするという見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「雪の学習プレゼンテーション2」配付。今回はテーマを絞っているため、イメージマップは作らず、DVDの感想を書くことにする。</li> </ul>
2 ～ 3	<p>○札幌・雪・スポーツのかかわりを知ろう〈2 時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「雪育キャラバン」の方々からお話を聞き、ウィンタースポーツや冬の札幌の魅力について理解を深める。</li> </ul>	<p>ゲストティーチャーとして、児玉毅さん、井山敬介さん、DAIGOさんをお招きする。</p>
4	<p>○お話から考えたことをまとめよう〈1 時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィンタースポーツ、雪、札幌がもつ、楽しさ、魅力、素晴らしさについて考える。</li> <li>・自分が興味をもったテーマを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート使用</li> </ul>
5 ～ 7	<p>☆ウィンタースポーツに挑戦しよう</p> <p>○ウィンタースポーツを体験しよう〈3 時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィンタースポーツミュージアムでDVDを視聴する。</li> <li>・ウィンタースポーツミュージアムで疑似体験をする。</li> <li>・体験したことをしおりにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌WSM見学</li> <li>・貸し切りバス利用</li> <li>・DVDは30分程度。今回は2番組を視聴。</li> <li>・実際の体験は1時間程度</li> <li>・体験を優先し、帰校してからのしおりに記入する。</li> </ul>
8 ～ 9	<p>○インターネットでウィンタースポーツについて調べる。〈2 時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキージャンプについて調べる。</li> <li>・クロスカントリーについて調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート使用</li> <li>・webサイト「ジャンプ雪印メグミルク」「クロカンの世界」利用</li> </ul>
冬 休 み	<p>○取り組みそうな、また、興味をもったウィンタースポーツを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキー</li> <li>・スケート</li> <li>・クロスカントリー</li> <li>・スノーボード</li> <li>・競技観戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験が難しい場合はTV視聴で考えや感想をもつように促す。</li> </ul>

10	<p>☆「ウィンタースポーツの街 札幌」のプレゼンを作ろう</p> <p>○プレゼンのテーマを決めよう〈1時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに4時間目に使用したワークシートをもとに、伝えたいテーマを決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「雪の学習プレゼンテーション2」P4～7使用</li> </ul>
11	<p>○体験したこと、調べたことを整理して分析しよう〈1時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で情報を整理し、プレゼンの柱を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「雪の学習プレゼンテーション2」P8～9使用</li> </ul>
12	<p>○コンピュータのプレゼンソフトを使ってみよう〈1時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプルを見て、プレゼンのイメージ化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャストスマイル「発表名人」使用</li> </ul>
13 (本時) ～	<p>○プレゼンテーションを作ってみよう〈4時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにプレゼンの型を決める。(説明型、クイズ型、調査報告型、主張・提案型)</li> <li>・グループごとにプレゼンの流れを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「雪の学習プレゼンテーション2」P10～17使用</li> <li>・今まで使用したワークシート、しおりを参考にする。</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で役割を分担し、自分の担当するスライドを作る。</li> <li>・作ったスライドを統合し、1本の作品にする。</li> <li>・スライドを見直し、追加・訂正がないか考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真は「みんなのフォルダ」から使用。</li> </ul>
17	<p>○リハーサルをしよう〈1時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルを繰り返し、プレゼンの方法をよりよく改善していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5分以内で発表できるように練習させる。</li> <li>・スライドのみに頼らず、身振り手振りや話し方を意識させる。</li> </ul>
18 ～	<p>☆「ウィンタースポーツの街 札幌」を発表しよう</p> <p>○プレゼンをしよう〈2時間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに発表し、評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト「雪の学習プレゼンテーション2」P18使用</li> </ul>
19	<p>○学習を振り返ろう〈1時間〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や5年生に向けての発表も考えられる。</li> </ul>
20		

## 6 本時の目標

○伝えたいテーマに基づき、発表の型と流れを考えることができる。(見通す力)

## 7 本時の展開 (13/20)

おもな学習活動	教師のかかわり
<p>【前時まで】 グループごとにプレゼンのテーマ・柱を決めている。</p> <p><b>プレゼンテーションを作ってみよう。</b></p> <p>プレゼンの型を決めよう</p> <p>説明型      クイズ型      調査報告型      主張・提案型</p> <p>説明を楽しんでもらいたいな。 分かりやすく説明したいから…。 国語や社会の学習を生かして…。</p> <p><b>プレゼンの型が決まったよ。</b></p> <p>プレゼンの流れを決めよう</p> <p>説明型～説明したいことに合わせて使う写真を決めよう クイズ型～テーマに合わせて、クイズの順番と問題の数を決めよう</p> <p>調査報告型～調べて分かったことを整理しよう。まとめの内容を考えよう。 主張・提案型～キャッチコピーや説得するための資料を考えよう。</p> <p>テーマからずれてないかな。 時間内に収まるかな。 スライドの数は多すぎないかな。 伝えたいことが表れているかな。</p> <p><b>プレゼンの型と流れが決まったね。次は、役割分担をして担当するスライドを作ろう。</b></p>	<p>教師のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各グループのテーマを全体で確認する。</li> <li>テキストのP10～13を説明し、グループごとに決定させる。</li> <li>初めての取組でもあるので、説明型やクイズ型もよしとするが、高学年なので、調査報告型や主張・提案型に挑戦を促す。</li> <li>型が決まったら全体交流で確認する。</li> <li>流れを決めるときの留意点について、テキストを読ませ確認する。確認後、流れを考えさせる。</li> <li>同じ型のグループがあれば、グループ同士で留意点を確認する。</li> <li>テキストP15を参考に、台紙に伝えたい内容を書き込んだ付箋を貼りつけていく。</li> <li>使いたい写真や言葉などを整理する。</li> <li>付箋を貼りつけた台紙をもとに全体交流をする。</li> </ul> <p><b>評</b> ○伝えたいテーマに基づき、発表の型と流れを考えることができたか。</p>
<p>・簡単な言葉で説明しよう    ・使う写真や資料を決めよう</p>	

## 8 板書構成



## プレゼンテーションを作ってみよう

1班  
テーマ

2班  
テーマ

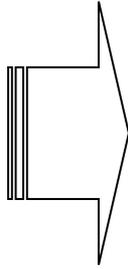
3班  
テーマ

4班  
テーマ

5班  
テーマ

6班  
テーマ

7班  
テーマ



### 説明型

説明したいことに合わせて写真を決めよう。

### クイズ型

テーマに合わせて、クイズの順番と問題の数を決めよう。

### 調査報告型

調べて分かったことを整理しよう。まとめの内容を考えよう。

### 提案・主張型

キャッチコピーや説得するための資料を考えよう。

## 9 座席表

